

平成31年度一般廃棄物処理基本計画書

一般廃棄物処理計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条第1項の規定により、燕・弥彦総合事務組合における一般廃棄物の処理に関する計画を定めるものである。

1 ごみの排出抑制、再資源化計画

(1)排出抑制の方法

住民・事業者への広報・啓発活動（燕市・弥彦村・組合の取り組み）

ごみの減量化の推進には、住民事業者の理解と協力が不可欠であり、意識の共有が必要である。そのためには、住民・事業者がごみの減量化について意識を高めるよう情報提供・啓発を行うとともに、施策の透明性を高める必要がある。

①住民・事業者への積極的な情報提供

組合及び構成市村のホームページを充実させ、ごみの減量化に関する情報を発信する。

住民・事業者に対し、ごみ処理に関する情報を提供する。

②住民の意識啓発

ごみ問題に取り組むサークルや NPO の活動を支援する。

市内及び村内の各種イベントにおいて、ごみ問題や環境問題を提起する。

マイバッグ持参運動を推進しレジ袋の削減を呼びかける。

③環境学習の実施

小学校や中学校において、ごみ処理施設の見学等を行う。

組合の啓発施設を活用し、親子で参加できる環境プログラムの実施を検討する。

④事業者の意識啓発

事業者に対しごみの減量化の重要性を説明する。

ごみ減量化に積極的な事業者をホームページや広報等でその活動内容を紹介する。

⑤3Rの推進

3Rを基本としたごみ処理施策を推進する。

(2) 再資源化の方法

①資源化率の向上を図るための分別体制の構築

資源の分別収集を徹底させ、資源化率の向上を図る必要がある。住民、事業者、行政の三者の協働により達成する必要がある。

②分別に対する啓発活動の推進

資源化率を向上させるためには、不燃ごみ分別収集方法の再構築が必要である。

また、一部地域のびん類の回収方法も再検討する必要がある。構成市村は住民に対し分別に対する啓発活動を推進するとともに、自治会、事業者等と協働を図り、分別監視体制の強化を図る。

③分別区分の見直し

ごみの分別区分は、社会情勢や処理技術を踏まえ、常に最適なものにする必要がある。

「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針（平成19年6月 環境省）」では、市町村の分別区分を大きく3つの類型に分けて紹介している。

類型Ⅰ→類型Ⅱ→類型Ⅲと徐々に分別区分が高度になるが、分別区分の見直しをする際、より高度な類型を目安とする必要があるとしている。

組合では、容器包装プラスチック類や紙製容器包装を分別収集していないが、廃食用油の分別をしている点で、類型Ⅱと類型Ⅲの間に属すと考えられる。今後もこれらの類型も参考にして最適な分別区分を検討する

(3)再資源化の量

単位：t／年

区分	紙類	金属類	ガラス類	布類	その他
資源ごみの種類	新聞 雑誌 段ボール 紙パック	粗鉄 アルミ缶 スチール缶	リターナル 瓶 ワンウェイ 瓶	木綿 絹	生ゴミ ペットボトル 乾電池 剪定枝 廃蛍光管
収集後分別	4,063	751	796	189	484
その他 (事業系)					1,938
合計	4,063	751	796	189	2,422

資源化施設の概要

施設名称	燕・弥彦総合事務組合 環境センター ストックヤード
設置場所	新潟県燕市吉田吉栄777番地
型式	資源ごみの貯留及び圧縮
公称能力	ヤード面積 647㎡ 減容能力 1.5t／日

施設名称	燕・弥彦総合事務組合 環境センター 粗大ごみ処理施設
設置場所	新潟県燕市吉田吉栄777番地
型式	横型回転式破砕機
公称能力	併用式 49t／5h

施設名称	燕・弥彦総合事務組合 環境センター 生ごみ堆肥化施設
設置場所	新潟県燕市吉田吉栄777番地
型式	高速好気性微生物処理
公称能力	4.5t (2.25t／日×2基)

2 中間処理計画

(1) 処理施設の概要

施設種類	施設名称	所在地	処理方式 (形式)	公称能力 (t/日)	年間計画 処理量 (t/年)	稼動 日数 (日/年)	1日平均 処理量 (t/日)
焼却施設	環境センター ストーカ炉	新潟県燕市吉田吉栄777番地	准連 (16時間稼動)	80	14,000	190	78
焼却施設	環境センター 流動床炉	新潟県燕市吉田吉栄777番地	准連 (16時間稼動)	78	12,000	200	62
粗大ごみ 処理施設	環境センター 粗大ごみ 処理施設	新潟県燕市吉田吉栄777番地	資源化施設併用 磁選・圧縮 横型衝撃・せん断 式	49	1,400	130	10
ストック ヤード	環境センター ストックヤード	新潟県燕市吉田吉栄777番地	圧縮・梱包・貯留 ヤード [※] 面積 647 m ²	1.5	300	120	3
堆肥化 施設	環境センター 生ごみ堆肥化 施設	新潟県燕市吉田吉栄777番地	高速好気性 微生物処理	4.5	230	300	1

(2)年間処理量

単位：t/年

区分			粗大ごみ処理施設		資源化施設		その他中間処理施設		焼却処理施設 ※(D)
			処理後 焼却処 理施設 (A)	処理後 焼却処 理施設 (B)	処理後 焼却処 理施設 (C)	処理後 焼却処 理施設 (C)			
分別 収集	可燃 ごみ	家庭系							17,546
		事業系							
	不燃 ごみ	家庭系							296
		事業系							
	粗大 ごみ	家庭系	423	296					90
		事業系							
資源 ごみ	家庭系			6,271	90				
	事業系								
その他 ()	家庭系								
	事業系								
混合 ごみ		家庭系							
		事業系							
直接 搬入	可燃 ごみ	家庭系						8,784	
		事業系							
	不燃 ごみ	家庭系							
		事業系							
	粗大 ごみ	家庭系							
		事業系							
資源 ごみ	家庭系			673					
	事業系			1,265					
その他 ()	家庭系								
	事業系								
合計		家庭系	423	296	6,944	90		17,932	
		事業系			1,265			8,784	

(3) 残渣の量及び処分方法

単位：t/年

最終処分場	直接埋立	処理残渣	その他	合計
クリーンセンター館野	4,472	2,968		7,440

3 最終処分計画

(1) 最終処分場の概要

区 分		(確認日：平成31年4月1日現在)
最終処分場名	燕・弥彦総合事務組合 環境センター クリーンセンター館野	
所在地	新潟県燕市館野字西109-1	
埋立地面積	71,700 m ² (既設 39,000 m ² 増設 32,400 m ²)	
埋立地容量	318,000 m ³ (既設 159,000 m ³ 増設 159,000 m ³)	
汚水処理能力	200 m ³ /日	
埋立方式	セルアンドサンドイッチ方式	
埋立開始年月日	平成25年4月1日	
埋立終了予定年月日	平成40年3月31日	
埋立地残存容量	79,699 m ³	

(2) 搬入される廃棄物の搬入者別の内訳量及び年間埋立量(覆土量)

区分		可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	中間処 理残渣	その他	合計	
一 般 廃 棄 物 t/年	直営					2,968		2,968	
	委託		3,672					3,672	
	許可								
	その他								
	直接 搬入	家庭系							
		事業系		800					800
小計(A)			4,472			2,968		7,440	
覆土 t/年 (B)								1,238	
年間埋立量 (A)×1.03+(B)								8,901	

(3) 埋立計画

燕市・弥彦村の全域対象

埋立機械 パワーショベル 2台 ホイルローダ 1台

平成31年度
一般廃棄物処理実施計画

燕・弥彦総合事務組合